

日本特別活動学会第33回大会

自由研究発表 第1分科会

2024年9月8日（日） 於：筑波大学・筑波キャンパス

エジプトにおけるTokkatsuの普及に 果たすTokkatsu Officerの役割

○田中光晴（文部科学省）

京免徹雄（筑波大学）

樋口耕平（エジプト教育・技術教育省）

橋谷由紀（日本体育大学）



1. はじめに

1. 問題の所在と本発表の目的

□問題の所在

- ・「エジプト・日本教育パートナーシップ」に基づく日本式教育の導入
 - 2017年「学びの質向上のための環境整備プロジェクト」
 - 2021年「特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクト」
 - 導入の原動力は、エジプト側のプルカ（京免ほか，2024）
- ・エジプト日本学校（EJS）におけるTokkatsu Plusの実施
 - 35校で開校、2024年現在51校まで拡大し、約1万1,700人が学ぶ
 - 多様な促進要因 ⇔ 公立学校への普及の阻害要因（京免ほか，2024）
- ・促進要因としての教育行政職Tokkatsu Officer（TO）
 - Tokkatsuに関するEJS教師のモニタリングとサポート
 - 公立校におけるTokkatsu指導 ⇒ 今後の定着・発展を大きく左右

1. 問題の所在と本発表の目的

□本発表の目的

EJSと公立校におけるTokkatsuの普及にTOがいかなる役割を果たしており、どのような課題や可能性があるのか明らかにする。

・本発表の意義

—TOは、日本には存在しないエジプト独自の制度（指導主事とも異なる）

—日本において特別活動の教師研修をどう進めるか、各学校の特別活動を牽引するリーダーをどう育成するかに新たな視座を提供する

・先行研究の課題

—杉田（2018）、Tnanaka（2019）、山田（2022）、中島（2018）、中岡（2010）、京免ほか（2024）、JICA・パデコ・国際開発センター（2021）など

—いずれも、TOの実態やTO自身の認識については検討されていない

2. 研究方法

2. 研究方法

□文献調査

TOの地位、職務、養成・研修制度について検討

- ・エジプト教育・技術教育省EJS Project Management Unit作成
 - 『EDU2.0に基づくTokkatsu実践ハンドブック』（2020年）
 - 『EJS Tokkatsuモニタリングマニュアル』（2021年）
 - 『Tokkatsu教師用マニュアル』（2022年）
 - 『全国の公立学校へのTokkatsuベーシックの普及』（2023年）、
- ・Tokkatsu研修・認証制度合同委員会が作成
 - 『エジプト国におけるTokkatsu研修・認証制度（TTCS）パイロットプロジェクト報告書』（2022年）

※いずれも非公開（データ利用申請・承諾を得て使用）

2. 研究方法

□現地調査

- ・研究チームから14名が2023年12月25日～28日にかけて、カイロ周辺のEJS3校でインタビュー調査
- ・本発表で使用するインタビューデータ
 - Tokkatsu Officer: 10名 (TO-a～TO-j)
 - 通訳あり(日本語—アラビア語)で1人あたり60分
 - 内容: Tokkatsuの普及・改善、今後のTokkatsuの展望
- ・分析方法
 - 録音して音声データからトランスクリプトを作成
 - 佐藤(2008)に基づき、4名(研究者2名、元小学校教師の研究者1名、JICA専門家1名)で協議しながら、オープンコーディングと焦点的コーディング



3. Tokkatsuオフィサーの 地位と職務

3. Tokkatsuオフィサーの地位と職務（1）

（1）Tokkatsuオフィサーが設置された背景

- ・パイロットプロジェクトにおいてTokkatsuのマスタートレーナー数名を育成したことがはじまり。
- ・EJSの新設により名称を改め、全国のEJSで指導とモニタリングを担うことになった。2024年現在約160名。

（2）Tokkatsuオフィサーの採用過程

- ・書類選考と1回の面接を経て教育省が採用。
- ・地方教育事務所職員や現役の学校管理職などが、本業の傍らTOとして働いている。
- ・待遇は本業で得る給料とは別に、活動実績に応じて手当支給。

3. Tokkatsuオフィサーの地位と職務（2）

（3）Tokkatsuオフィサーの職務内容

- ・ モニタリングと技術指導を通じてTokkatsu実施を支援し、教員研修やフォローアップを担当（EJS-PM, 2021）。
- ・ 一部TOは各地域のリーダーとしてモニタリングシートを収集・分析し、中央へ提出。

（4）Tokkatsuオフィサーの能力強化の機会

- ・ TOへの研修やOJT（先輩TOとペア）を通じて知識を深める。
- ・ 日本での研修に参加する者もあり、経験を他のTOに還元。

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ インタビューのコーディング結果

・8テーマ、32カテゴリー（焦点化されたコード）

ー各「テーマ」はインタビュー・ガイドの質問項目に対応したものであり、「カテゴリー」は焦点的コーディングで付したコード、「コード」はオープンコーディングで付したコードを示す。「数」は、10名中何人がそのコードの内容に言及したかを示している。

テーマ① エジプトの教師のTokkatsu実態の潜在的な能力

テーマ② 学校の特性に合わせたTokkatsu導入の工夫

テーマ③ TOが教師を指導する際に必要な力

テーマ④ 公立校でTokkatsuが広がらない原因

テーマ⑤ TOによる指導の課題

テーマ⑥ Tokkatsuの普及に向けたTOの活動・期待

テーマ⑦ 自分の人生にとってのTOの意味

テーマ⑧ TTCSの有効性と課題

第4節

第5節

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ テーマ① エジプトの教師のTokkatsu実践の潜在的能力

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
能力がある	研修を受ければできる	5	○	○	○	○		○				
	教師の優秀さ	3							○		○	○
能力がない	新しいことを学ぶには難しい年齢層	1				○						



4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ TOのエジプトの教師に対する認識(テーマ1)

- ・エジプトの教師の優秀さを語るTO
 - 「多くの先生がこの(Tokkatsuを実践する—筆者注)能力を持っていると思います」(TO-C)
 - 「若い先生たちなら研修を受けてその場合できると思います」(TO-D)
 - 「ちゃんとした準備があれば、先生はちゃんとできる能力がある」(TO-F)
 - 「(エジプトの先生がTokkatsuを実践する能力は—筆者注)もちろんあります。エジプトの先生は優秀だよ」(TO-J)
- ・キャリアによる受入れの差を感じるTO
 - 「今は公立学校で働いている先生たちは年上、例えば55歳とか。今から新しいことを学ぶのは難しい」(TO-D)

研修を受ければTokkatsuを実践する力がエジプトの教師には備わっていると認識していた。

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ テーマ② 学校の特性に合わせたTokkatsu導入の工夫

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
多様な教師を巻き込む	アラビア語教師がTokkatsuをやりやすい	2			○					○		
	教師は毎日教室に入る	3			○					○	○	
	Education 2.0	3			○		○					○
	アカデミック以外の教科の教師を巻き込む	2		○	○							
学級に活動を閉じない	集会活動、グループ活動、学年全体、学校全体のグループ活動	1					○					
	異学年交流	1					○					
	幼稚園と小学校の間の交流	1					○					
学校・教師・児童に合わせた指導	児童理解	1			○							
	学校理解	1							○			
	学校や教員ごとの指導プラン	1				○						
	経験年数に応じた指導	1				○						
	学校の特色に合わせた活動の発展	1							○			

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ TOの実践—学校へのTokkatsu導入の工夫(テーマ2)

- ・多様な教師を巻き込む
 - 教科担任制、Tokkatsuを担当するのは主要教科(より多くの時間数が割かれているため学級に入る機会が多い)の教師が担当することが多い(TO-C)
 - 「アカデミックな先生だけに頼むことじゃなくって、ほかのアートの先生、たとえば、音楽の先生、ソーシャル・ワーカーにも頼む」(TO-C)
- ・学級に活動を閉じない
 - 学級にTokkatsuが閉じないように、異学年交流や、学年や学校全体での活動、学校種を超えた交流を促す(TO-E)
- ・学校・学級・子どもに合わせた指導
 - 指導を上から型にはめ込むのではなく、自分が入る学校や学級、相手にする教師や学級の子どもについて理解するよう努める(TO-C、TO-G)
 - 経験年数に応じた教師ごとの指導プランを策定する(TO-D)

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ テーマ③ TOが教師を指導する際に必要な力

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
コミュニケーション能力	言語力	1					○					
	書く能力	1					○					
	聞く力	5		○	○	○			○			○
	教師との対話	2				○					○	
	柔軟性	2			○		○					
教師に寄り添う態度	教師を理解する力	2				○	○					
	指示ではなく支援	4			○	○				○		○
	肯定的フィードバック	4			○	○	○	○				
	相談にのりアイデアを共有させる	1							○			
Tokkatsuの専門性	Tokkatsuを説明できる	5	○		○				○		○	○
	Tokkatsuの哲学	3	○		○							○
子どもをみる力		3								○	○	○
Tokkatsuに関するロールモデル		3			○			○	○			

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ TOの専門性(テーマ3)

・コミュニケーション能力

- 「ほかの意見も聞きます。反対の意見も聞きます。だれにもリスペクトをする」(TO-C)
- 「他の人の反対意見もちゃんと最後まで聞かないといけない」(TO-G)
- TO自身の考えを伝える言語力(TO-E)、細かな観察力(TO-J)、教師とコミュニケーションをとる対話力(TO-D、TO-I)

・教師に寄り添う態度

- 「先生の性格によって指導方法は異なります。先生の性格を理解することが必要」(TO-D)
- 指示ではなく支援を意識すること(TO-C、TO-D、TO-H)
- 肯定的なフィードバック行うことが必要(TO-C、TO-D、TO-E)
- 「先生には例えばまずはお礼、まず、いいところを話しする」(TO-F)

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ TOの専門性(テーマ3)

- ・Tokkatsuに関する専門的な知識
 - 「例えばどうやって先生たちに授業をしたり、説明したり」するかというTokkatsuの実践に関して助言する力(TO-C)
 - 「アクティビティとフィロソフィについて十分な情報をもっている」(TO-C)
- ・常に子どもを意識すること
 - 「先生をみるまえにまずは子どもを見ることです」(TO-H)
 - 「子ども理解すること」(TO-J)
- ・ロールモデルとしての自覚
 - 「自分自身がロールモデルじゃないといけない。口だけにならないように」(TO-F)
 - 「私達は自分でモデルとしないとそれを始めないと、ほかの人たちもずっと。それも続けないから、私達モデルとして、私達ははじめからしないといけない」(TO-G)

4. Tokkatsuの普及・改善における Tokkatsu Officerの実践と専門性

□ TOの実践と専門性

- ・エジプトの教師に対する信頼
- ・Tokkatsuをエジプトの学校に普及するために、それぞれがその学校や所属する教師、児童の状況に合わせてながら丁寧に推進
- ・TOが持つべき専門性
 - 言語力や聞く力、書く力、柔軟性、コミュニケーション能力
 - 教師に寄り添う態度
 - Tokkatsuに関する専門的な知識
- ・ロールモデルとしての自覚
- ・子どもを中心に据える意識

TOに対する研修による一定の効果とも捉えられる。

ロールモデルとしての自覚は、TOの専門性を議論する上で興味深い。

5. Tokkatsu Officerからみた Tokkatsuの課題と展望

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ TOとしてエジプトにおけるTokkatsuの普及に関する課題

・テーマ4、5の語りから課題を、テーマ6、7、8からTO自体の可能性について検討する。

- テーマ① エジプトの教師のTokkatsu実態の潜在的能力
- テーマ② 学校の特性に合わせたTokkatsu導入の工夫
- テーマ③ TOが教師を指導する際に必要な力
- テーマ④ 公立校でTokkatsuが広がらない原因
- テーマ⑤ TOによる指導の課題
- テーマ⑥ Tokkatsuの普及に向けたTOの活動・期待
- テーマ⑦ 自分の人生にとってのTOの意味
- テーマ⑧ TTCSの有効性と課題

第4節

第5節

課題

可能性

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ テーマ④ 公立校にTokkatsuが広がらない原因

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
Tokkatsuに対する理解不足	新しいものへの不信感	7	○	○	○		○	○			○	○
	Tokkatsuの意義を伝える	5	○	○	○						○	○
	Tokkatsuの宣伝不足	2					○	○				
リソース不足	施設の不足	1			○							
	教師の数の不足	2			○					○		
	学級担任制から教科担任制へ	2			○					○		
	クラスサイズ	3	○			○				○		
	予算の不足	2	○		○							
研修機会の不足	研修の不足	5		○	○		○	○		○		
	研修の参加人数	1						○				
	管理職に対する研修	3	○	○	○							
	EJSの訪問機会の不足	1			○							
	教師の多忙	6	○		○	○	○	○				○
	実践の難しさ	2							○		○	

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ 公立校にTokkatsuが広がらない原因(テーマ4)

・Tokkatsuに対する理解不足

- 「エジプトの先生たちは、Tokkatsuのアクティビティはちょっと信じていない。または、モチベーションがありません」(TO-A)
- 「先生は、Tokkatsuは、どういう、何がTokkatsuかよくわかっていない」(TO-C)
- 「新しいものはわからないから」(TO-J)

・リソース不足

- 児童数の増加から施設の不足や教員数の不足がかねてより課題(TO-C)
- 「学活がたいへん。いつも忙しい。なんでTokkatsu。できない。やる時間がない」(TO-C)
- 「公立学校の先生は本当に忙しくて、彼らはTokkatsuの活動の時間がない」(TO-D)
- 「まず仕方がないところは、先生の普段の仕事負担大きい」(TO-F)

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ 公立校にTokkatsuが広がらない原因(テーマ4)

・研修機会の不足

- 研修機会が少ない(TO-F)
- 研修があったとしても参加人数が少ない(TO-E)
- EJSへの訪問機会が不足している点(TO-C)
- 管理職に対する研修不足(TO-A、TO-C)



5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ テーマ⑤ TOによる指導の課題

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
教師	自分が正しいと思っている教師	5		○	○	○				○		○
	先生同士の交流の少なさ	2								○	○	
	先生が全てやってしまう	1						○				
学校	先生の裁量の少なさ	1								○		
	新任教師の指導	1				○						
	研修の不足	1							○			
	学校規模が大きくなっている	1					○					
TO制度	訪問回数の不足	1				○						
	担当する学校の変更	1				○						
	指導時間の不足	1					○					
管理職の理解	TOの役割に対する誤解	1			○							
	校長との関係	1			○							
Tokkatsu実践の難しさ	学級指導	1					○					
	学級会における「決める」の指導	2		○					○			
	学校間の違い	1					○					

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ TO自体が抱える指導の難しさ(テーマ5)

・教師に関する難しさ

- 「自分が正しいと思っている教師」が多く(TO-D)
- 指導を受け入れたり、自分の実践を改善したりすることに積極的ではない(TO-B、TO-H)
- 教師同士の交流の少なさ(TO-H)
- 教師が全てやってしまう(TO-F)

・学校・教育環境に付随する難しさ

- 教師らは基本的に管理職の指導の下にあるため、教師の裁量が少ない(TO-H)
- 各学校の規模が大きくなり、児童数が増えている一方で、教師の数は増えておらず、教師らの業務が単純に増え、新しい実践を行うゆとりがない(TO-E)

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ TO自体が抱える指導の難しさ(テーマ5)

- ・TO制度自体が抱える難しさ
 - TOの量的不足やTOを配置するオペレーションがまだ安定的でない(TO-D)
 - TO制度自体が学校の管理職にちゃんと理解されていないと思われぬ誤解につながることもある(TO-C)
 - TOやTO制度自体の周知の必要性
- ・Tokkatsuの実践自体がもつ指導の難しさ
 - 学級指導(TO-E)や、学級会における「決める」指導(TO-B)が難しい
 - Tokkatsuは教科書がなく、マニュアルに沿えばその通りの結果がでるという実践でもない(TO-G)
 - 実践の積み重ねが求められる

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ テーマ⑥ 自分の人生にとってのTOの意味

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
活動	Tokkatsu以外も見る	1						○				
	自分の周りからやれることをはじめ	1						○				
	教員間で競争させない	1						○				
	SNSの活用	2	○									○
	TOが自ら一般校でTokkatsu実施	1					○					
	研修の実施	2		○		○						
	Tokkatsuの哲学を日常的に話す	1				○						
期待	モニタリングシステムの改善	1						○				
	Tokkatsuディプロマ	1								○		
	普及には時間がかかる	1			○							
	育てたい教員の能力	1						○				

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ テーマ⑦ Tokkatusの普及に向けたTOの活動・期待

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
活動	Tokkatsu以外も見る	1						○				
	自分の周りからやれることをはじめ	1						○				
	教員間で競争させない	1						○				
	SNSの活用	2	○									○
	TOが自ら一般校でTokkatsu実施	1					○					
	研修の実施	2		○		○						
	Tokkatsuの哲学を日常的に話す	1				○						
期待	モニタリングシステムの改善	1						○				
	Tokkatsuディプロマ	1								○		
	普及には時間がかかる	1			○							
	育てたい教員の能力	1						○				

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ テーマ⑧ TTCSの有効性と課題

カテゴリ	コード	数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
役立った	動画	1								○		
	選択式試験	1								○		
	グループディスカッション	1								○		
	モニタリングの審査	1			○							
役立たなかった	選択式試験	1			○							
改善方策	モニタリングの審査	1			○							

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ TO制度とTokkatsuの可能性(テーマ6, 7, 8)

- ・TOにとってのTO経験の意味(テーマ6)
 - 「新しい経験」(TO-D)
 - 「TOとして重ねてきた経験は私のキャリアにすごく大事なもの」(TO-E)
 - 自身の知や人生に対して影響があった(TO-D)
 - Tokkatsuの考え方を自分の子どもにも実践するようになったり、自分自身のタイムマネジメントができるようになった(TO-G)
 - TO経験を肯定的に捉え、自らの生活にも取り入れる
 - 「話し合い能力、研修でたくさんの方の前で話す能力、先生に研修したり、相手の気持ちを理解できる能力を得られた」(TO-E)
 - 「いろんな場面でいろんなしゃべるようになった。自分のこのアイデアを伝えたい。いろんな人に伝えたい。伝えたくくなりました」(TO-F)
 - 研修をとおして得られた能力

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ TO制度とTokkatsuの可能性(テーマ6, 7, 8)

- ・TOが考えるTokkatsuの意義と広報(テーマ7)
 - SNSを使ってTokkatsuの様子を発信(TO-A、TO-J)
 - 日常の中でTokkatsuの哲学を語るようにする(TO-D)
 - 自らのまわりでできることからTokkatsuの普及を心がけている(TO-F)
 - TOとして積極的に研修を企画(TO-D)
 - 自ら一般校でTokkatsuを実践してみせる(TO-E)
 - TOが積極的にTokkatsuを発信
- ・TO制度の課題(テーマ7, 8)
 - 現在のモニタリングシステムに課題を感じる(TO-F)
 - Tokkatsuディプロマのように教員養成課程でのTokkatsuの取扱いに期待したい(TO-H)
 - TTCSは、動画やグループディスカッションは役にたった(TO-H)。選択試験やモニタリングの審査には課題(TO-C)

5. Tokkatsu OfficerからみたTokkatsuの課題と展望

□ TOからみたTokkatsuの課題と展望

- ・Tokkatsuを公立校に広めていくには、Tokkatsuの認知度を高めていく必要がある。
- ・TOは、Tokkatsuに意義を感じており、個人のSNSや学校訪問を通じてTokkatsu広報に貢献しているが、これらを体系的に後押しする必要がある。
- ・一方で、TOらが挙げた課題はエジプト教育が抱えている課題と関連する点も少なくないため、TOの工夫やTO制度の改善のみではカバーできないものもある。
 - －研修機会の拡充 → 既存の研修システムへの位置付け不備
 - －TO制度 → インセンティブの付与
 - －Tokkatsu関連の財源確保

改善は容易ではないが、Tokkatsuの定着及び質保証の上では、TO制度は、欠かせない仕組である。

6. おわりに

6. おわりに -2つの示唆-

□特別活動を指導・助言する者の専門性

・指導主事の業務（有限責任監査法人トーマツ、2014）

- 指導主事の業務は、「学習指導」「生徒指導」「教員研修」「学校経営」「教育課題」「学校事故」「教育施策の立案」「会議参加」「指導行政に直接関係しないこと」「研修受講」の10種、資質・能力は、「判断力」「分析力」「情報処理能力」「企画・調整力」「コミュニケーション能力」「説得力」「マネジメント力」「危機管理能力」
- TOと指導主事はイコールではなく、TOはTokkatsuを普及するために設けられた外部の「研修リーダー」。

・特別活動を指導・助言する者の専門性

- コミュニケーション能力、教師に寄り添う態度、Tokkatsuに関する専門的な知識
- どうやって先生たちに授業をしたり、説明するかという「プロフェッショナルな能力」（TO-A）、「テクニカルなステップがちゃんと説明できる」（TO-C）という実践に関する知識、「Tokkatsuのフィロソフィ」（TO-A、TO-C、）、「平等、正直、ジャスティス」（TO-J）というTokkatsuの哲学についての深い理解

6. おわりに ー2つの示唆ー

□特別活動を指導・助言する者の育成システム

・質保証を担うTO制度

- ーTO制度は、エジプトで導入されたTokkatsuを指導・助言する者の養成システム
- ー普及・定着を本務とするが、Tokkatsuの質保証機能としても作用する。

→ 特別活動の実践を充実させていく基盤の1つとして、研修リーダーの養成、指導教諭・指導主事の配置の充実など、教師の学びを支える「教師教育者」(teacher educator)の育成が重要(篠原他、2022:66)

・特別活動を指導・助言する者の育成システムとは

- ーTOの研修システム、TOの認証システム(TTCS)が参考になる。
- ー日本の特別活動が海外で展開された際に、新たに生み出される制度や工夫は翻って、日本の特別活動の今後の発展可能性を検討する材料と成りうる。

6. おわりに —2つの示唆—

□今後の課題

・データが有する課題

- TO10名からエジプトのTOの認識を一般化することには限界があるが、TOがどのような認識を持っているかの一端を示した点で意義がある。
- インタビューは日本語アラビア語通訳を介して行われたため、一部に通訳の解釈が入っている可能性がある。適宜現地スタッフである樋口先生に事実確認等を行いながら、取り扱った。

・TOの属性に関する分析

- それぞれのTOのバックグラウンドは多様であるが、サンプル数の制限から、バックグラウンドの違いによる語りの異同については分析できていない。
 - また、TOという時点で一定程度Tokkatsuに関心がある者であり、また日本の専門家からのインタビューということで、「良く」語っている可能性があるが、概ねTO研修で取り扱われている点と相違ないということを考えれば、共通に語られる（何が良いかを知っている）ということ自体にも意味がある。
- #### ・引き続き、TO及びTO制度を追いながら、特別活動の質保証の在り方について検討したい。

参考文献

- EJS-PMU (2020) 『EDU2.0に基づくTokkatsu実践ハンドブック』、EJS-PMU (2021) 『EJS Tokkatsuモニタリングマニュアル』
- EJS-PMU (2021) EJS Tokkatsu Monitoring Manual: The Project for Creating Environment for Quality Learning
- EJS-PMU (2022) Teacher manual for Special Activities (Tokkatsu) 2022-2023
- EJS-PMU (2023) Government School Nationwide Tokkatsu Basics Dissemination Monitoring Manual
- JICA・パデコ (2016) 『エジプト・アラブ共和国基礎教育分野にかかる情報収集・確認調査 報告書』
- JICA・パデコ・国際開発センター (2021) 『エジプト国学びの質向上のための環境整備プロジェクト 事業完了報告書』
- 京免徹雄・田中光晴・添田晴雄 (2024) 「エジプトにおける日本型教育モデルTokkatsu受容の構造的要因—現地主義アプローチに基づく内因・外因の分析—」日本比較教育学会第60回大会、名古屋大学、2024年6月30日
- 中島悠介 (2018) 「エジプトにおける“特別活動”を通じた日本式教育の導入と課題に関する考察：現地報道を手がかりに」大阪大谷大学教育学会『教育研究』43号、47-55頁。
- 中岡裕策 (2020) 『エジプトにおける特別活動を中心とする日本型教育の導入と受容に関する研究』（東京大学大学院新領域創成科学研究科修士論文）、23頁。
- 佐藤郁哉 (2008) 『質的データ分析法 原理・方法・実践』新曜社。
- 杉田洋 (2018) 「エジプトでのTOKKATSUの現状と可能性」『日本特別活動学会紀要』第26号、1-7頁。
- Tanaka, S. (2019). Tokkatsu plus in Egypt: Extending the Tokkatsu concept in Tsuneyoshi, R., Sugita, H., Kusanagi, K., & Takahashi, F. Tokkatsu: The Japanese educational model of holistic education. Singapore: World Scientific, pp. 225-250.
- 山田真紀 (2023) 「特別活動の海外展開—エジプト・インドネシア・モンゴルでのTOKKATSUの実践を中心に—」『椋山女学園大学研究論集 人文科学篇・社会科学篇・自然科学篇』第54号、201-221頁。
- 篠原清夫・米沢崇・脇本健弘 (2022) 「教育センター指導主事の資質・能力と育成の特徴に関する一考察」『国立教育政策研究所紀要』第149集、65-83頁。
- 有限責任監査法人トーマツ (2018) 『学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究』（概要版）
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/icsFiles/afieldfile/2014/11/21/1342944_2.pdf
(2024年7月10日最終アクセス)

ご清聴ありがとうございました。

謝辞:本研究は、令和5年度 文部科学省「日本型教育の海外展開 (EDU-Portニッポン)」調査研究「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」の助成を受けた。

謝辞:本研究は、日本特別活動学会2023年度重点課題プロジェクト「グローバル・スタンダードとしての日本型教育モデルの開発—Tokkatsuの海外展開の分析—」の助成を受けた。

謝辞:本研究の実施にあたって、(独)国際協協力構およびエジプト教育・技術教育省 (MOETE) から、「エジプト国『学びの質向上のための環境整備プロジェクト』」および「特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクト」のデータの提供を受けた。

付記:本研究は、筑波大学人間系研究倫理委員会の承認 (課題番号:筑2023-188A号) を得て、実施した。

「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」ウェブサイト



EDU-Portニッポン「特別活動の国際化と質保証に関する研究」
Study on internationalization and quality assurance of Tokkatsu

お問い合わせ [Contact](#)

ホーム
Home

研究テーマ
Research

活動報告・研究成果
Report and Achievements

メンバー・体制
Member

イベント
Event

関連情報
Resource



EDU-Portニッポン

「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究」

EDU-Port Japan

“Study on internationalization and quality assurance of Tokkatsu aimed at fostering non-cognitive skills”

